



# 三木高大 自治会新聞

令和4年1月号 (No.174)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 米村 隆

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 2022(令和4年)1月13日

[koureisyadaigaku.cccp.jp](http://koureisyadaigaku.cccp.jp)

## 高齢者大学自治会 再出発！

新年明けましておめでとうございます。

本年が本当に良い年でありますように。心からそう願わずにはいられません。おおよそ2年間新型コロナウイルスの感染に翻弄された日々でした。それは、何気ない日常がどれ程大切なのかを思い知らされた日々でもありました。

昨年末、何通かの喪中欠礼のはがきが届きました。文中に亡くなった方の年齢が書かれています。殆どが九十歳代、百一歳が二通ありました。改めて長寿・高齢化を実感しました。考えさせられたのは仕事をリタイアした後の七十代・八十代をどう有意義に過ごすかです。生涯現役とまでは言いませんが、張り合いのある日々を過ごしたいものです。その一コマの舞台が高齢者大学であっていいのではないのでしょうか。(大いにPRしましょう)これからその存在意義は大きくなると思っています。

しかし、入学者数が減少しているという現実があります。理由や背景は幾つかあるでしょうが、自治会活動の在り方が問われているという指摘があります。現に、入学してから役員としての負担が大きいため退学という事例も聞きます。

こういった状況を受けて自治会では大きな簡素化・効率化に取り組み、令和4年度はその実践の年なのです。役員組織や行事・クラブ活動の在り方の変更、大学との連携、活性化や楽しさを盛り込んでの再出発です。

そして、何より学生の皆さん一人一人が自治会活動に関心を持って、積極的に関わっていただくことが新しいものを創り出すことになると思っています。

自治会会長 米村 隆

### 専門講座だより 古典

### ～源氏物語を学んで～

恋の季節がやってきました。専門講座(古典)で学んでいる源氏物語によって恋心が芽生え、ワクワクしています。

夕顔や末摘花のような女性を探し、赤い野バラを持って接したいと意気込んでいます。思い返せば、私が最初に源氏物語に出会ったのは高校生の時に見た映画でした。当時の名優であった長谷川一夫が光源氏を演じていました。それは今でも強い印象で残っています。

今回は黒田先生の源氏物語です。先生の解説は、それぞれの主人公になって話され、さらに加えて、時代背景や二人の様子を詳しく話していただきます。そのことによって、読むだけではわからないことを教えていただけるので、それぞれの心情までがよく理解できます。源氏物語が恋愛小説では世界ナンバーワンと言われるのがよくわかりました。

私は源氏物語の主人公になり、家庭菜園の野菜を育て、越路吹雪や都はるみの歌を聴きながら瞑想にふけっているこの頃です。



3年2班 稲岡 洋右

## 大学祭のご案内

今年の高齢者大学大学祭は第30回を迎え、節目となる大学祭となります。

この1年間は新型コロナウイルスにより、体育祭等様々なイベントが中止や延期を余儀なくされました。そんな中、大学祭はコロナ禍での開催となり先行き不透明ではありますが、感染症防止対策をしっかりと講じながら、皆さんが「安心・安全」に楽しめる、また「思い出の作れる」大学祭の開催を目指しております。

また、各クラブの1年間の努力と成果を発表する場となります。各クラブの活動内容や演技発表を楽しんでいただけたらと思っております。

現在、大学祭開催に向けて大学祭実行委員・担当役員を筆頭に準備を進めています。

～学生の皆様！「みんなが楽しく、集える大学祭」が開催できるよう各位のご協力をよろしくお願い致します～

- ◆ 日時：令和4年2月19日（土）9：30～12：00 準備  
13：00～15：00 展示のみ実施  
令和4年2月20日（日）9：30～15：00 演技発表・展示
- ◆ 場所：高齢者大学（体育館や研修室等）

大学祭実行委員長 3年3班 池田 義昭

## ひろば

### ～家族（嫁と姑）～



姑の立場、嫁の立場、それぞれあると思う。なぜ、線引きするのでしょうか。

思いやる心、声に出してこそ通じ合えると思う。嫁が作るおかずは食べられない、洗濯物の干し方が悪い等々聞きます。自分が嫁の立場の時どうでしょう。満点でしたか。振り返ったら反省すべき事、多々あったと思います。

主人の実家に行くとき「ただいま」と声が出ます。姑には頭を下げてこそ、自分磨きが出来自分を育てます。私の母は田舎ですが、婦人部の頂点にいました。

母の教えは厳しいけど、女性として一人前にしてくれました。

今、姑と嫁の立場になり、喜びは倍に苦しみは分け合える仲になりました。ところが、我が家にも大事件。今から5年前大黒柱のママ（嫁）が大病、「癌」でした。しかも3か所に。涙がこれでもかというほど。夜、昼となく蛇口が壊れたかのように出るわ出るわ。

ママは「ごめん、母さんこんなことになって」代わることもできないし、我が家は医療に携わっている者ばかり。医者に看護師。前を向くしかない。それから、私の戦いです。上の孫がママをお願いしますと1人暮らしを始め、2番目は大学、3番目は小学生。家の全般が全部のしかかりました。

ママの通院、深夜の救急も何度か。無菌室にも。嫁だったママを、愛おしく思うようになり、今では自身をいたわりながらの昨今。2人でランチに行ったり、洒落た喫茶を探しておしゃべり。ほとんどの方は姑でしょうが、今一度胸に手を置いて、娘と嫁の差はどうでしょうか。私も娘2人いますがやっぱり、嫁が1番、孫が2番、3番目は…

自分の来た道を振り返り、これから行く道穏やかに!!

人という字は助け合って人と書きます。ゆっくりあせらず歩いていきましょう。

3年2班 川本 千鶴恵

## 29 期生卒業旅行記

新型コロナ緊急事態宣言下での今回の卒業旅行の計画を進めるにあたり、受け入れてくれるホテルや旅行社が有るのか、旅行に参加してくれる学生が居るのか等々乗り越えなければならない障害が幾つかありました。過去に当大学の旅行をお手伝いして頂いた旅行社数社が廃業される中、阪急交通社さんにて対応して頂けることになりました。数々の制約の為

目的地も二転三転しましたが、石川県でホテルも加賀屋の 1 泊 2 日の旅に決定しました。また卒業旅行には 30 名もの多くの参加者となりました。

11 月 18 日さあ旅行のスタートです。集合場所の市役所前駐車場には「おめかし」した女性とそれなりの男性が集合してきました。流石の 29 期生です、時間厳守で予定より早く新神戸へ向けて出発です。その後新大阪で特急サンダーバードに乗り換え、金沢に向けて出発しました。車内では早速アルコールの匂いが、その後手配の弁当で昼食を済ますともう金沢駅です。金沢駅の象徴の鼓門の前で集合写真を撮影後バスにて移動して東茶屋町を散策、そして冬の風物詩の雪吊り（雪の重みから枝を守る為ロープで枝を吊る）がされた兼六園をガイドの案内で見物しました。

その後移動して 5 時にはホテルの加賀屋に到着しました。あまりの豪華なホテルに驚きましたが同時に夕食の料理に期待が膨らみます。入浴後は早速夕食です。岡田前会長の挨拶、尾上現総務の乾杯の音頭で食事開始です。料理は先附に数日前に解禁のズワイガニから始まり前菜の珍味、アワビ、和牛、のどぐろなどの煮物、蒸し物、焼き物が続きました。飲み放題としたせいで美しき女性がどんどんビールやお酒をお酌してくれます。食事も一息した頃新型コロナ感染防止のため大騒ぎする宴会芸を止めて女性旅行委員の発案でゲームの開始です。じゃんけんゲーム、福引、ビンゴゲーム盛り上がりました。賞品の買い出しから包装や

くじの作成など女性委員に感謝です。宴会が開きになった後もかなり盛り上がった方もおられたようです。

翌日には日本の原風景の千枚田、輪島の朝市でお買い物後昼食を済ませて金沢駅に向かい駅構内のお土産屋さんで最後の買い物です。皆さんお金持ちでどのバッグを見てもパンパンです。疲れた顔も見せず満足そうな笑顔を見ていると無事に卒業旅行がやれて良かった、やって良かったと感じています。4 年 4 班 原田 典彦





ある日、庭木にハトが巣を作り卵を温め始めた。雨の日には、葉の隙間から雨が降り込み、羽が濡れて光っている。飲まず食わずのようだ。そんなにまでして温め続けていたのに親鳥が巣を捨てた。もう育たないと見限ったのか？巣作りの時には二羽いた親鳥が途中から一羽いなくなっていた。つがいは交代で卵を温めるのではなかろうか？薄情な。

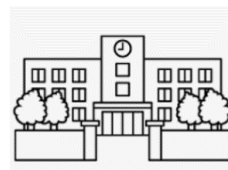
卵を抱いていた親鳥がいなくなって二日目、三個の卵が忽然と消えた。蛇の仕業かと疑う。翌日、エアコンの室外機の上に黒っぽい物を見つけた。じっと見つめながら通り過ぎようとしたら、なんと蛇だ。「ワーッ」と叫びながら走って逃げた。夫に見てもらおうとシマヘビとの事。卵を食べたのはこれだと確信する。痩せた蛇は追っ払ってもなかなか逃げなかったようだ。久しぶりのご馳走だった事でしょう。

その一か月後、なんと、同じ巣で新たに鳩が卵を温め始めた。今度は近所の人が蛇除けの薬を撒いてくれた。しかし又、親鳥が巣を捨てた。ネットで調べると鳩の抱卵期間は、18日くらいとの事。正に19日くらい経っていた。

抱卵中、一度も鳴かなかった親鳥がその日は鳴いた。惜別の涙ならぬ声だったに違いない。三度目があるなら雛を見たいものだ。

1年2班 高田 チミ子

## 令和4年度大学生募集



三木市高齢者大学では、新年度入学生を募集しています。ご近所、お友達、お知り合いの方に大いにPRしていただき、お誘いくださるようお願いいたします。募集案内及び入学願書は、まなびの郷みずほ、教育委員会生涯学習課（市役所5階）、市立公民館、三木南交流センターなど市の施設に置いてあります。

◇入学資格 三木市内に住所を有する60歳（令和4年4月1日現在）以上の学習意欲のある方で、学生自治会活動に参加し、かつ、地域活動に関心、意欲のある方

**※三木市高齢者大学の卒業生も再入学できます。**

◇募集定員 50名（先着順）

◇学習講座 教養課程及び専門課程（園芸、健康福祉、情報、古典、郷土史）

◇学費等 入学金12,000円、受講料10,000円/年間、自治会費3,500円/年間

◇願書受付 2月25日（金）まで、火～金曜日の9時から16時、郵送も可

◇問い合わせ 高齢者大学事務局（市立まなびの郷みずほ内 ☎88-2550）

◇詳しくは koureisyudaigaku.cccp.jp

教務主任 藤原 良一